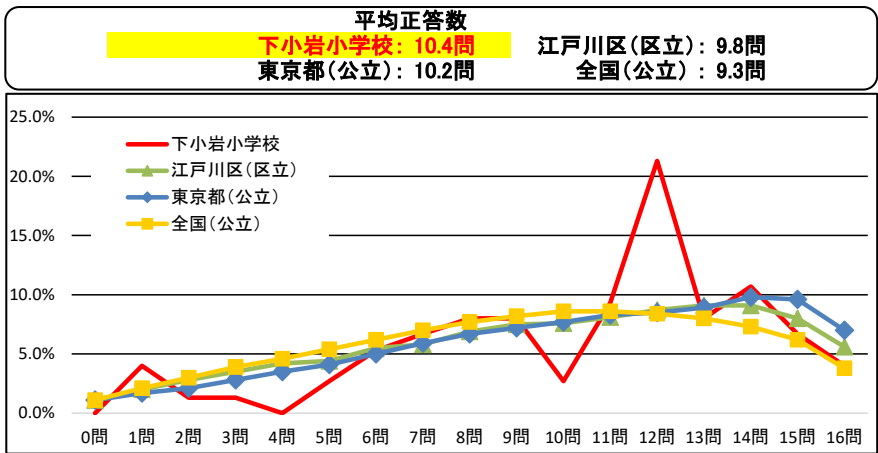


令和7年度全国学力・学習状況調査 結果分析表【算数】 下小岩小学校

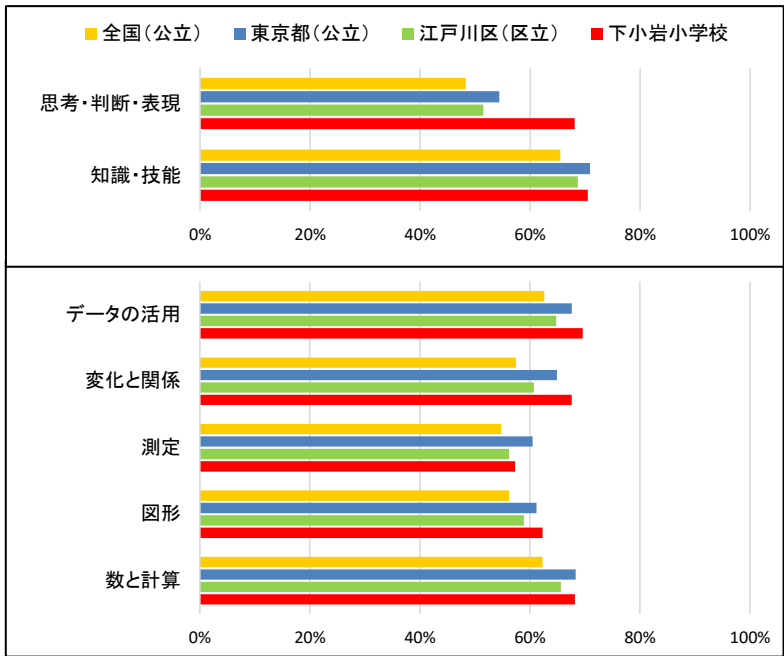
正 答 数 分 布



【平均正答率の差】

下小岩小学校	65%
江戸川区(区立)	61%
東京都(公立)	64%
全国(公立)	58%
都との差(ポイント)	1.0

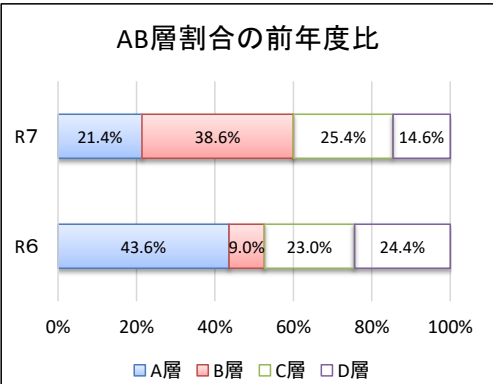
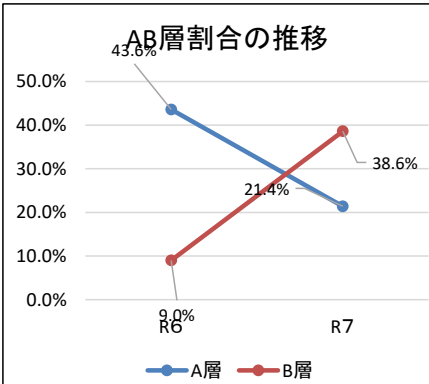
「領域別」の結果



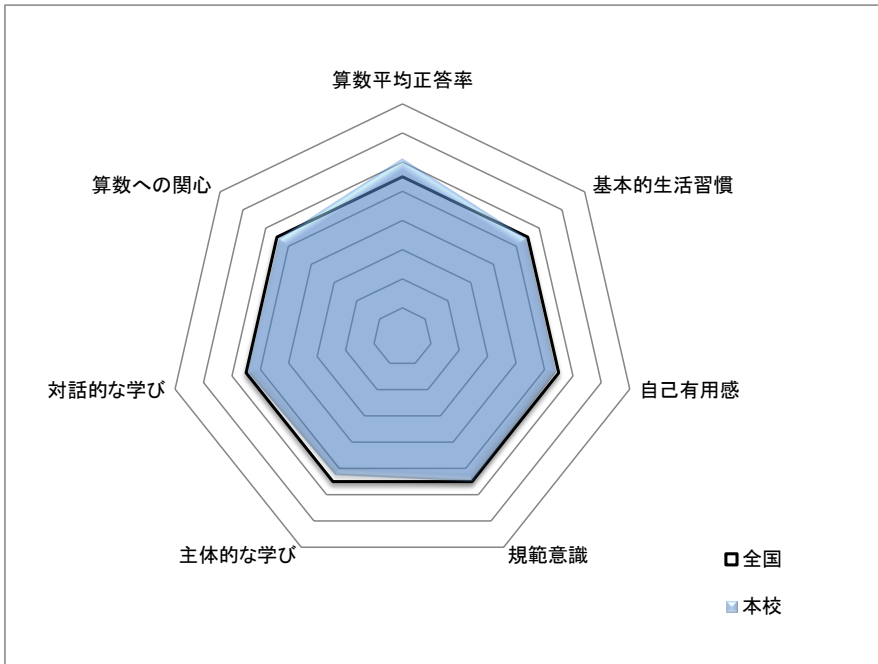
四 分 位 に お け る 割 合 (都 全 体 の 四 分 位 に よ る)

算 数	上位 ← → 下位			
	A層 14～16問	B層 11～13問	C層 7～10問	D層 0～6問
下小岩小学校	21.4%	38.6%	25.4%	14.6%
江戸川区(区立)	22.7%	25.9%	27.9%	23.5%
東京都(公立)	26.4%	25.7%	27.6%	20.3%
全国(公立)	17.3%	25.0%	31.4%	26.3%

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、児童数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。下の表では、四分位によって児童をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の児童の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都(公立)のデータを基に定めている。



各 領 域 に お け る 、 全 国 平 均 正 答 率 及 び 、 全 国 の 肯 定 的 回 答 合 計 値 を 基 準 と し た 場 合 の 、 本 校 の 様 子 。



《チャートの特徴》

・平均正答率が全国や東京都の平均を上回っており、これまでの基礎学力向上のための手立てが成果として表れている。
・主体的な学びの項目については、全国平均を下回っている。基礎的な学習は今後も継続しつつ、自ら発展的に学べるような手立てや支援が求められる。

《家庭・地域への働きかけ》

・毎日の家庭学習で、基本的な計算問題を繰り返し取り組むことで、基礎・基本の定着を図る。
・江戸川っ子スタディウィークでは、家庭学習としてドリルパークに取り組む。
・保護者会において学力調査の結果や課題について伝え、保護者と児童の実態を共有していく。

《現状把握》

●AB層の割合と取組内容について
・AB層の割合は、全体の60%である。
・各領域において、本校児童の正答率は全国平均を上回っており、下回っている項目でも、差は1～2ポイント程度にとどまっている。また、短答式、選択式、記述式、いずれの設問形式でも全国平均を上回る結果となった。「思考・判断・表現」の領域で大きく都平均を上回っている。逆に「測定」に課題が残る。
・定着度調査を基にカルテを作成し、苦手な領域に取り組み、基礎学力の向上を図っている。
・アイテム算数や区の発展学習マスターコースを取り入れ、発展的な問題に取り組んでいる。
・問題解決型学習を取り入れ、自分の考えを表現したり、友達に伝えたりする活動を取り入れいている。

・教員の指導力向上

・習熟度別による算数の授業展開で、個に応じた指導をしている。
・週に1度は、児童の情報共有を教員間で行うことで、得意・不得意を認識し、授業に役立てるようにしている。
・今年度の校内研究では国語科で研究を行っているが、児童への発問や文章理解を促す手立てとして、算数を含め様々な教科で活用している。
・「わかる」「できる」を実感できる授業を展開できるよう教員間で打ち合わせを行っている。

学習の基盤となる基礎・基本の確実な習得のため、計算を反復練習する時間を設けている。

(1) 朝学習の時間を活用し、ベーシックドリルに取り組み、反復練習を行う。
(2) かけ算の定着のため、授業の合間に反復練習を行っている。給食前の時間を活用し、校長室で100マス計算に取り組んでいる。
(2) わり算の定着のため、授業の合間に反復練習を行う。給食前の時間を活用し、算数教室でわり算の筆算に取り組んでいる。

・学習習慣の確立

・授業や家庭学習にアイテム算数を活用している。空き時間があればアイテム算数に取り組みせ、継続的に取り組む習慣を付けている。
・学習カルテを基にした東京ベーシックドリルの活用している。
・家庭学習の充実を図っている。
・朝学習活用して学習習慣の定着を図っている。
・区のEDOスク(放課後学習教室)を実施している。

・AB層の育成

・問題解決場面では、いろいろな考えを出せるよう支援していく。図や式、言葉で自分の考えを表現し、汎用性の高い考えを意識して解決方法を考えられるようにする。
・対話を通して、考えの相違点・共通点を確認し、考えを広げる活動を取り入れていく。
・アイテム算数や区の発展学習マスターコースに引き続き取り組む。